

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/9)

認定番号: 0263-2205, サービス名称: Cuenote SR-S, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須	2024年5月30日
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	ユミルリンク株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	1999年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		24年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	東京都渋谷区代々木2丁目2番1号(〒151-8583)
	事業所数(国内、国外)		国内:3		
	主な事業所の所在地		東京都(本社1ヶ所)、大阪市(1ヶ所)、北海道(1ヶ所)		
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	当社は、企業のインターネットでのコミュニケーション課題をトータルに解決する「メッセージングソリューションプラットフォーム」を提供する会社です。
- 人材					
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須	清水 亘
			代表者写真	選択	Webサイトに掲載
			代表者年齢	選択	52歳
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択	平成14年 7月 ユミルリンク株式会社入社 平成17年10月 ユミルリンク株式会社Forecast事業部統括就任 平成19年10月 ユミルリンク株式会社開発本部長就任 平成20年 3月 ユミルリンク株式会社代表取締役就任(現任)
7	役員	役員数	選択	11名	
		役員氏名及び役職名	選択	清水 亘(代表取締役社長)、小林 幹彦(常務取締役)、渡邊 弘一(取締役)、高比良 実(取締役)、齋田 誠(取締役)、鏑木 祥介(取締役)※1、菊川 泰宏(取締役)※1、伊達 有希子(取締役)※1、松田 拓(常勤監査役)※2、宇仁菅 亮介(監査役)、芹沢 俊太郎(監査役)※2 ※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役です。 ※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役です。	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択	128名
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須	2,315,269千円(2023年12月第26期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択	592,480千円(2023年12月第26期)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	273,853,860円
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	85.38%(2023年12月第26期)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択	有利子負債無し(2023年12月第26期)
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択	支払利息なし(2023年12月第26期)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/9)

認定番号: 0263-2205, サービス名称: Cuenote SR-S, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】			【記述内容】	必須/選択	申請内容
15	財務信頼性	上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択	有り 東京証券取引所グロース
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択	①会計監査人による会計監査
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択	有り
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	アイテック阪急阪神株式会社(51.84%) BNYMAS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC(12.10%) 清水 亘(6.81%) 光通信株式会社(4.56%) 株式会社日本カストディ銀行(信託口)(3.57%)
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	非開示
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	三井住友銀行 飯田橋支店
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	新経済連盟 アジア経営者連合会
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	小林幹彦(常務取締役、コーポレート本部分掌役員)
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	コンプライアンス委員会
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称	必須○	情報取扱規程
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択	無し
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		無し
26		ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須	有り Cuenote 共通サービス 運営要綱(2023年12月1日)
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
- サービス基本特性					
27		サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	Cuenote SR-S
			申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)		2008年5月20日

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/9)

認定番号: 0263-2205, サービス名称: Cuenote SR-S, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
28	サービス内容	サービス開始時期	必須	<p>有り:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2008.05.20 ~メール配信のトラブルを改善するリレーサーバ~メール配信を効率化する「Cuenote SR-S」を発売 ・2009.05.19 メール配信リレーサーバ Cuenote SR-Sのバージョンアップを実施し、エラー通知機能を搭載 ・2009.08.31 リレーサーバCuenote SR-Sにデコレエンジン搭載、携帯5キャリアに対応した絵文字・HTMLメールを自動生成 ・2009.09.08 メールリレーサーバCuenote SR-SのASPサービスを提供開始、月額7万5,000円からの定額制料金プランを採用 ・2010.08.25 メールリレーサーバCuenote SR-Sをバージョンアップ、エラーアドレスのリアルタイム同期で高可用性リレー環境を実現 ・2012.02.21 メールリレーサーバ「Cuenote SR-S」がクラウドサービスに対応 ・2015.03.04 メールリレーサーバ「Cuenote SR-S」が「なりすまし対策DKIM」に対応 - 既存システムはそのまま、DKIM署名付きのメール配信が可能に - ・2016.04.08 メールリレーサーバ「Cuenote SR-S」がTLS暗号化に対応、TLS暗号化したメール配信、SMTPリレーが可能に ・2024.02.01 メールリレーサービス「Cuenote SR-S」、初期費用無料キャンペーンを実施~Gmailの「メール送信者のガイドライン」変更に対応する企業・自治体を支援~
29		サービスの基本タイプ	必須	アプリケーションサービス
30		サービスの内容・範囲	必須	<p>「Cuenote SR-S」(メールリレーシステム)は、既存のメール配信システムからSMTPリレーし、メールを代行して配信することで、メールの遅延や不達を解消するメールリレーサービスです。メールをSMTPリレーして配信するだけでなく、APIによるメール配信も可能とし、企業側のシステムでMTAを用意しなくとも円滑なメール配信を実現することも可能です。</p> <p>主な用途として、ECサイトや会員サイトにおける商品発送、登録完了、購入完了などの重要な通知メールなど、トランザクションメールを高速・確実に届けるために活用されています。大量の宛先に一斉に送るマーケティングメール「Cuenote FC」、通知メールなどのトランザクションメールには「Cuenote SR-S」を活用することができ、企業から消費者に送るメールに関する幅広いソリューションを提供しています。</p>
		申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>		
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>		無し
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	明確な範囲限定はしておりません。ご要望をいただいた後にカスタマイズ可否の判定をしております。
32	サービスの 変更・終了	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	必須○	<p>利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)</p> <p>6ヶ月前</p> <p>告知方法</p> <p>電子メール、書面</p>
33		サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	必須	<p>対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略</p> <p>無し</p> <p>基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略</p> <p>無し</p> <p>契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無</p> <p>無し: APIによるデータダウンロード機能を標準搭載している。なお、契約終了時は当社から削除証明書を発行する。</p>
34		サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	必須○	<p>有り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常問合せ窓口(サービス機能変更に関する問合せ含む) ①窓口名称: Cuenote サポートデスク 受付時間: 当社営業日10:00~18:00 受付方式: 電話・メール ②窓口名称: 問合せフォーム 受付時間: 24時間365日 受付方式: Webフォーム (https://www.cuenote.jp/inquiry)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/9)

認定番号: 0263-2205, サービス名称: Cuenote SR-S, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	従量課金なし
		固定部分の課金方法		メール配信数を無制限でご利用頂ける、ライトプラン、スタンダードプラン、プロフェッショナルプランなど定額制の料金プランを採用しております。
36	料金体系	初期費用額	必須	150,000円(税別)～
		月額利用額		ライトプラン: 75,000円(税別) スタンダードプラン: 90,000円(税別) プロフェッショナルプラン: 個別御見積り
		最低利用契約期間		6ヶ月
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	有り: 最低契約期間に満たずに解約する場合は、解約日以降最低利用期間満了日までの残余期間に相当する利用料金および消費税相当額を違約金として支払う。
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	有り: 解約の月の1か月前
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	99.99%(2023年1月1日～2023年12月31日)
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン1、対照参照値: 99.5%以上
		サービス停止の事故歴		2023年1月1日～2023年12月31日 事故歴: ソフトウェア不具合
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	有り: システム設備の構内ネットワーク上に設置した監視サーバによって、各サーバのサービス応答状況を、監視項目ごとに5分間隔で確認している。障害の可能性がある場合は監視アラートをオペレーターへ通知する。
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		有り システム設備の構内ネットワーク上に設置した監視サーバによって、各システムの動作状況を、サービス項目ごとに5分間隔でパフォーマンスを測定している。
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	有り サーバのリソース状況を監視し、必要に応じてインフラの拡張(メモリー増設、サーバスベックアップ、サーバ台数の増設、上位回線移行やリンク集約化による帯域拡張)及びシステムのチューニングを実施する。
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 20000-1など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	・プライバシーマーク(JIS Q 15001:2017) 認定番号 第10820642号 ・ISMS(JIS Q 27001:2023(ISO/IEC27001:2022)) 認定番号MSA-IS-102 ・ISMS(JIS Q 27017:2016(ISO/IEC27017:2015)) 認定番号MSA-IS-102-CL
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	Cuenote ASP・SaaSサービス利用規約に明示
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	ソフトウェア環境は、AppScanで確認。OS・ハードウェアは、ツールを使つての診断(rapid7)、ベンダーのリリース情報を定期的に確認。
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		アプリケーションの診断の頻度は、製品のリリース毎に実施。アプリケーションの対策が必要になった物は、基本リリース前に修正して提供。 ツールを使つての診断、適宜実施し影響度に応じて都度対応。ベンダーのリリース情報、月次で実施し影響度に応じて都度対応。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/9)

認定番号: 0263-2205, サービス名称: Cuenote SR-S, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	有り 日次1回
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	7世代
	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	日次作業で結果を確認する。
	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	無し
	SLA (サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	添付されません。
49	サービス 利用量	利用者数	選択	非公開
		代理店数	選択	パートナー制度により複数社有り
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	Cuenote SR-S
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	お客様のメール配信エンジン(MTA)に代わってメールを高速に配信するリレーサーバーです。配信性能に優れた独自開発の配信エンジンにより携帯向け大量メールもお客様のメールサーバーからメールをスムーズに受け取り、遅延なく確実にメールを届けます。
52	主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	ユミルリンク株式会社
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	無し
		標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	選択	HTTPS経由で利用者側システムとの連携が可能な自社APIをオプション搭載している。
54	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	サーバー、ストレージ、ネットワーク機器、アプリケーションを機械監視。 異常時は即時オペレーターへ通知され、24H365Dで対応する。 ・サーバ、ストレージのリソース監視間隔: 1分 ・アプリケーションの応答の監視間隔: 5分 ・サービスの応答の監視間隔: 5分
		障害時の利用者への通知時間	必須○	60分以内
55	セキュリティ	障害監視(ソフトウェア、機器)	必須	有り アプリケーションのサービス状態を機械監視。 異常時は即時オペレーターへ通知され、24H365Dで対応する。 ・サーバ、ストレージのリソース監視間隔: 1分 ・アプリケーションの応答の監視間隔: 5分 ・サービスの応答の監視間隔: 5分
56	時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	有り NTP
57	ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	有り サーバーにウイルス検知ソフトをインストールして自動更新。4~5回/日程度に定義ファイルの有無をチェックしている。
58	記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	有り 重要な操作についてはシステムログに記録し、管理画面より閲覧可能。 保存期間は利用者が設定可能。
59	セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	深刻な影響があるパッチはリリースから24時間以内を目安に適用している。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/9)

認定番号: 0263-2205, サービス名称: Cuenote SR-S, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
- ネットワーク					
60	回線	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線、IP-VPN
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	IDC(サービス提供拠点)と利用者間のユーザ接続回線は責任を負わない
61	推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	無し	
62	推奨端末		パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	管理画面閲覧については指定なし(ブラウザが必須)。
			利用するブラウザの種類	必須	Microsoft Edge 最新版 Mozilla Firefox 最新版 Google Chrome 最新版
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	有り ファイアウォールを冗長化して設置、不要なポートを閉じている。
64		不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	有り IPSを冗長化して設置、不正な通信をブロックしている。
65		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	監視対象外 (責任範囲外のインターネット回線のため)
66		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○	有り
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	有り ID、パスワード、ワンタイムパスワード ※ワンタイムパスワードは希望顧客に限りオプション提供 IPアドレスによる接続制限
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○	有り
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須	有り 第三者によるサーバ証明書を取得し、SSL/TLS通信で利用
70		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択	・保守作業用端末に個人情報データベースが作成されていない 事のモニタリング ・保守要員の操作を記録したログの点検
- ハウジング(サーバ設置場所)					
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須	①否(複合建物) ②専用建物 ③専用建物 ④否(オフィスビルと兼用) ⑤専用 ⑥専用建物
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北))	必須	①関東1 ②北九州 ③関西1 ④関西2 ⑤関東2 ⑥関東3
73		耐震・免震構造		耐震数値	必須
			免震構造や制震構造の有無	必須	①無(耐震構造) ②無(耐震構造) ③有り(免振構造) ④無(耐震構造) ⑤無(耐震構造) ⑥無(耐震構造)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/9)

認定番号: 0263-2205, サービス名称: Cuenote SR-S, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
74	非常用電源設備	無停電電源	必須	①有り(設定定格15分) ②有り(定格10分以上) ③有り(定格7分以上) ④有り(15分) ⑤有り(10分) ⑥有り(10分)
75		給電ルート	必須	①否(同一の変電所からスポットネットワーク方式) ②否(同一の変電所から本線・予備線方式) ③2ルート(異なる変電所) ④主電源は自家発電機 バックアップ電源は単一変電所から2ルート 予備線として別変電所から1ルート確保 ⑤同一変電所より66KVの特別高圧電源をクローズドループ方式で東京電力から2系統受電 ⑥同一変電所から3回線スポットネットワーク方式による受電
76		非常用電源	必須	①有り(定格18時間以上) ②有り(定格72時間以上) ③有り(定格48時間) ④有り(常時稼働) ⑤有り(全負荷の状態にて72時間以上) ⑥有り(無給油運転時間24時間) 最長連続稼働時間: 非公開
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	①有り(不活性ガス 소화設備) ②有り(不活性ガス 소화設備) ③有り(N2 가스 소화設備) ④有り(ガス系 소화設備) ⑤有り(ガス系消火設備及予作動式スプリンクラー消火設備の2種類を設置) ⑥有り(ガス系消火設備)
78		火災感知・報知システム	必須	①有り ②有り ③有り ④有り ⑤有り ⑥無し
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	①有り ②有り ③有り ④有り ⑤有り(避雷針が3か所あり、雷を接地し、サージを逃す工夫がされています) ⑥有り
80		誘導雷対策	必須	①有り(非公開) ②有り(非公開) ③有り(60kV) ④無し ⑤有り(受変電設備にアレスターを設置して誘導雷対策を実施8.4kV2.5kA) ⑥無し
81	空調設備	十分な空調設備	選択	①専用空調をN+1 構成で設置 ②専用空調をN+1 構成で設置 ③水冷方式(壁吹き) ④床下吹き出し空調 ⑤コンピュータ専用水冷パッケージ、床拭き上げ方式、N+1 構成 ⑥床下吹出方式
		入退室記録の有無と、 入退室記録がある場合はその保存期間		①有り(1年保存) ②有り(1年保存) ③有り(2年保存) ④有り(無期限で保存) ⑤有り(3か月) ⑥有り(保存期間: 3年)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/9)

認定番号: 0263-2205, サービス名称: Cuenote SR-S, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	①有り(24時間、建物管理範囲内の各所に設置、3か月保管) ②有り(24時間(一部モーションキャプチャ)、敷地内の各所に設置、3か月保管) ③有り(24時間、建物管理範囲内の各所に設置、3か月保管) ④有り(常時稼働)、稼働時間:常時稼働、監視範囲:全通路、保存期間:1ヶ月 ⑤有り(サーバールーム入り口のみ 動態検知方式で録画、3か月保管) ⑥有り(監視範囲:サーバ室入口及びラック間通路)、映像保存期間:6ヶ月、稼働時間:モーションセンサーにより動きを検知した場合のみ録画
		個人認証システムの有無		①無し ②有り ③有り ④有り ⑤有り ⑥有り
83	メディアの保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	①無し ②有り(貸し出し用) ③顧客のご要望に基づく ④有り ⑤有り(鍵付きレンタルロッカー:別月額費用) ⑥有(自社用)
		保管管理手順書の有無		①無し ②利用者の管理事項 ③顧客のご要望に基づく ④有り ⑤無し ⑥有(自社用)
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	①24時間有人警備、ICカードによる認証等を実施 ②24時間有人警備、生体認証、共連れ防止措置等を実施 ③無し ④サークルゲートの設置 ⑤無し ⑥ISMS認証取得、PMS認証取得、自社スタッフ及びビル警備員による24時間有人監視
- サービスサポート				
85	サービス窓口(苦情受付)	連絡先	必須○	窓口名称: Cuenote サポートデスク 受付時間: 当社営業日 10:00~18:00 連絡先: 電話: 03-6820-0511(サポートデスク直通) email: support@cuenote.ne.jp FAX: 03-6820-0087
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	営業曜日: 土日祝日・当社指定休業日を除く月曜日から金曜日 営業時間: 10時から18時
		メンテナンス実施時間		定期メンテナンスの実施時間はなし。 緊急を要する場合を除き、メンテナンス時は事前に連絡を行います。
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)	選択	実績値は管理していない
		放棄率の実績値(単位:%)		実績値は管理していない
		応答時間遵守率の実績値(単位:%)		実績値は管理していない
		基準時間完了率の実績値(単位:%)		実績値は管理していない
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	操作説明、不具合連絡受付 (障害対策、障害時のデータ回復サポート、安定稼働のためのソフトウェア改修及び運用保守)
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール、FAX

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (9/9)

認定番号: 0263-2205, サービス名称: Cuenote SR-S, 事業者名称: ユミルリンク株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	ネットワーク経路の冗長化、サーバー・ストレージの冗長化をしている。 バックアップは専用ストレージを利用している。
90		事故発生時の責任と補償範囲	必須	有り Cuenote ASP・SaaSサービス利用規約
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)
		告知方法		電子メール
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有り
92		障害・災害発生時の通知	必須○	有り
93		定期報告	必須	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。